

# 令和6年度 シラバス

科目		単位数	学年				
化学基礎		2	2				
教科書番号・教科書名			副教材				
104数研 化基708 ・ 化学基礎			セミナー化学基礎+化学				
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高める。</li> <li>目的意識をもって観察や実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育む。</li> <li>化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。</li> </ul>					
評価の方法		①知識・技能 知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	② 思考・判断・表現 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	③ 主体的に学習に取り組む態度 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。			
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第1編 物質の構成と 化学結合 第1章 物質の構成	純物質と混合物 物質とその成分 物質の三態と熱運動	混合物と純物質の違いや混合物の分離方法を理解する。 元素の意味を理解する。 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化について理解する。	○	○	○
	5	第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	原子とその構造 イオン 周期表 イオン結合 分子と共有結合	原子とその構造 イオン 周期表 イオン結合 分子と共有結合	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	6 7	第3章 粒子の結合 第2編 物質の変化 第1章 物質質量と 化学反応式	分子間にはたらく力 共有結合結晶 金属結合  原子量・分子量・式量 物質質量 化学反応式と物質質量	組成式の作り方を理解する。 分子中の原子の結合及び分子の構造を表す方法を理解する。 金属について理解する。  原子量や物質質量の定義について理解する。 溶液の濃度の表し方を理解する。 化学反応式やイオン反応式の書き方を理解する。 化学反応式が表す量的関係を理解する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
第2学期	9 10	第2章 酸と塩基の 反応	酸と塩基 水の電離と水溶液のpH  中和反応 塩	酸・塩基の定義や酸性・塩基性について理解する。 水素イオン濃度とpHの関係を理解する。 中和反応と塩の生成を理解する。 中和滴定の計算を理解する。 塩の性質を理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	11 12	第3章 酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用	酸化還元反応が電子の授受による反応であることを理解する。 酸化剤と還元剤の定義を知り、両者の反応が酸化還元反応であることを理解する。 各金属のイオン化傾向と反応性の関係を理解する。 日常生活や社会との関わりの例として電池や金属の精錬を理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○